

令和2年6月19日

令和2年度「日本遺産(Japan Heritage)」の認定結果の発表について

- 令和2年度「日本遺産(Japan Heritage)」の認定については、69件の申請があり、「日本遺産審査委員会」の審議を経て、21件を新たに認定しました。
- 認定地域に対しては、認定後3年間重点的な財政支援を実施するなど、「日本遺産」を活用した地域活性化の取組みを支援します。

1. 「日本遺産」の認定について

- 「日本遺産」の認定については、累次の閣議決定等において、2020年度までに100件程度行うこととしているところ、平成27年度（2015年度）以降、令和2年度（2020年度）までの6年間で104件を認定しました。

新規認定の募集については、今年度（2020年度）の募集をもって当面最後とすることとしています。

2. 今後の取組み

- 今年度の認定終了後も、「日本遺産」を活用した継続的な取組みを推進します。
- 他方で、これまで認定された地域においては、その取組みに温度差があるなどの課題が見受けられることから、「日本遺産」全体の底上げを図り、ブランドを維持・強化していくための具体的な方策（取組状況に関するフォローアップの強化、優良な取組み事例の横展開、新たな制度の導入等）について、今後、外部有識者で構成される「日本遺産フォローアップ委員会」（平成29年度に設置）において、検討することとします。

詳しくは、以下の資料を参照願います。

- 別紙1 令和2年度「日本遺産（Japan Heritage）」認定一覧
- 別紙2 令和2年度「日本遺産（Japan Heritage）」認定概要
- 別紙3 令和2年度「日本遺産（Japan Heritage）」申請一覧
- 別紙4 「日本遺産（Japan Heritage）」について
- 別紙5 令和2年度日本遺産審査委員会委員名簿

※例年開催している「認定証交付式」は開催いたしません。

<担当> 文化庁参事官（文化観光担当）

参事官	折原 英人（内線 5050）
企画官	阿部 雄介（内線 5051）
課長補佐	春田 鳩麿（内線 5049）
専門官	清水 ゆき（内線 5046）
	溝田 直己（内線 5046）

電話：03-5253-4111（代表）、03-6734-4869（直通）

令和2年度「日本遺産（Japan Heritage）」認定一覧

番号	道府県名	申請者 （◎印は代表自治体）	ストーリーのタイトル
1	北海道	◎標津町，根室市，別海町，羅臼町	「 さけ せいち ものがたり ねむろかいきょいちまんねん みちのり 鮭の聖地」の物語 ～根室海峡一万年の道程～
2	岩手県	◎二戸市，八幡平市	” おくなんぶ うるしものがたり あつびがわりゅういき う つが でんとうぎじゅつ 奥南部”漆物語 ～安比川流域に受け継がれる伝統技術～
3	茨城県，山梨県	茨城県（◎牛久市），山梨県（甲州市）	にほん ねんし こくさん じょうぞう わぶんか けっしょう 日本ワイン140年史 ～国産ブドウで醸造する和 문화の結晶～
4	栃木県，茨城県	栃木県（◎益子町），茨城県（笠間市）	かさましこ きょうだいさんち つむ や ものがたり かさましこ ～兄弟産地が紡ぐ“焼き物語”～
5	東京都	八王子市	れいきまんざん たかおさん ひとびと いの つむ そう ものがたり 霊気満山 高尾山 ～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～
6	新潟県	十日町市	きゅうきょく ゆきぐに しんせつ こうせつち 究極の雪国とおかまち ―真説！豪雪地ものがたり―
7	福井県，滋賀県	福井県（◎南越前町，敦賀市），滋賀県（長浜市）	うみ こ てつどう せかい てつろ 海を越えた鉄道 ～世界へつながる 鉄路のキセキ～
8	山梨県	◎甲府市，甲斐市	こうしゅう たくみ げんりゅう み たいけしやうせんきやう すいしやう こどう みちび しんこう わざ せんしん 甲州の匠の源流・御嶽昇仙峡 ～水晶の鼓動が導いた信仰と技、そして先進 ぎじゅつ 技術へ～
9	長野県	千曲市	つき みやこ ちくま おぼすて たなだ ま か ふ しぎ つきけしき たごと つき 月の都 千曲 ―嬢捨の棚田がつくる摩訶不思議な月景色「田毎の月」―
10	長野県	上田市	らいらいん たいやう だいち せいち りゅう い しんしゅううえだ しおだだ レイラインがつなぐ「太陽と大地の聖地」 ～龍と生きるまち 信州上田・塩田 いら 平～
11	静岡県	◎藤枝市，静岡市	にほん はつ たび お やじ き た すんしゅう たび 日本初「旅ブーム」を起こした弥次さん喜多さん、駿州の旅 こっけいほん うきよえ えが とうかいどうたび どうちゅうき ～滑稽本と浮世絵が描く東海道旅のガイドブック（道中記）～
12	京都府，滋賀県	京都府（◎京都市），滋賀県（大津市）	きやうと おおつ つな きぼう すいろ びわこ そすい ふね の ある ふ めいじ 京都と大津を繋ぐ希望の水路 琵琶湖疏水 ～舟に乗り、歩いて触れる明治 のひととき
13	大阪府，奈良県，和歌山県	大阪府（◎河内長野市），奈良県（宇陀市），和歌山県（九度山町，高野町）	じよせい いま いき にょにんこうや とき こ とき あ みまも つづ いや 女性とともに今に息づく女人高野 ～時を超え、時に合わせて見守り続ける癒 せいち しの聖地～
14	兵庫県	◎伊丹市，尼崎市，西宮市，芦屋市，神戸市	いたみ もろはく なだ きいっぽん くだ さけ う めいじょうち いたみ なだごころ 「伊丹諸白」と「灘の生一本」 下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷
15	奈良県，大阪府	奈良県（◎三郷町），大阪府（柏原市）	もう、すべらせない！！ ～ たつたこどう しんぞうぶ かめ せ 龍田古道の心臓部「亀の瀬」を越えてゆけ～
16	和歌山県，大阪府，奈良県	◎和歌山県（和歌山市，橋本市，紀の川市，岩出市，かつらぎ町），大阪府（岸和田市，泉佐野市，河内長野市，和泉市，柏原市，阪南市，岬町，河南町，千早赤阪村），奈良県（五條市，御所市，香芝市，葛城市，王寺町）	かつらぎしゅげん さとびと まも つた しゅげんどう ち 「葛城修験」 一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地
17	島根県	益田市	ちゅうせいにほん けっさく ますだ あじ ちほう じだい かがや ふたた 中世日本の傑作 益田を味わう 一地方の時代に輝き再び―
18	島根県	大田市	いわみ かざん つた ゆうきゅう れきし じょうもん もり しろがね やま で あ たび 石見の火山が伝える悠久の歴史 ～”縄文の森” ”銀の山”と出逢える旅へ～
19	岡山県	高梁市	はっしょう ち べんがら あかがねまち びつちゅうふきや 「ジャパンレッド」発祥の地 一弁柄と銅の町・備中吹屋―
20	長崎県，福岡県，佐賀県	長崎県（◎長崎市，諫早市，大村市），福岡県（飯塚市，北九州市），佐賀県（嬉野市，小城市，佐賀市）	さとうぶんか ひろ ながさきかいどう 砂糖文化を広めた長崎街道 ～シュガーロード～
21	熊本県	八代市	やつしろ たがや いしく きせき いしく さと いき いしづく 八代を創造した石工たちの軌跡 ～石工の郷に息づく石造りのレガシー～

令和2年度「日本遺産 (Japan Heritage)」認定概要

① 北海道 (◎標津町, 根室市, 別海町, 羅臼町)

※◎印は代表自治体 (以下同)

《「^{さけ} ^{せいち} ^{ものがたり} 鮭の聖地」の物語 ～^{ねむろかいきょういちまんねん} 根室海峡一万年の道程～》

北海道最東の海、根室海峡。この地では、遥か一万年の昔から、絶えず人々の暮らしが続いてきました。その支えとなったのは、大地と海を往来し、あらゆる生命の糧^{かて}となった鮭です。毎年秋に繰り返される鮭の遡上^{そじょう}という自然の摂理の下、当地では人と自然、文化と文化の共生と衝突が起こり、数々の物語と共に、海路、陸路、鉄路、道路という、根室海峡に続く「道」が生まれます。一万年に及ぶ時の流れの中で、鮭に笑い、鮭に泣いた根室海峡沿岸。ここはいまも、人と自然、あらゆるものが鮭とつながる「鮭の聖地」です。



【鮭山漬け寒風干し】



【野付半島】

【標津遺跡群伊茶仁
カリカリウス遺跡】

② 岩手県 (◎二戸市, 八幡平市)

《”^{おくなんぶ} 奥南部”^{うるしものがたり} 漆物語 ～^{あつびがわりゅういき} 安比川流域に^う 受け継がれる^{でんとうぎじゆつ} 伝統技術～》

日本民俗学の祖・柳田國男は著書で、この安比川流域を、“奥南部”と称しています。安比川の上流域には木地師、中流域には塗師、下流域には漆掻きが多く住み、地域で一体的な漆器製作を行ってきました。生漆や漆工芸品の特産地としての誇りを胸に、漆産業を現在まで守り続けています。特に浄法寺漆は、とても良質で、日光東照宮陽明門などの日本を代表する国宝建造物の修復に使われ、日本の文化を支えています。

この物語は、“奥南部”安比川流域の人々が、漆を大切にそして誇りに思い、伝統技術・漆文化を繋いできた物語です。

“奥南部”漆物語に想いを馳せながら、地元の漆器で地元食材の料理と酒を味わう贅沢なひと時を過ごしてみたいはいかがでしょうか。



【漆器】



【漆掻き】

③ 茨城県（◎牛久市）、山梨県（甲州市）

《日本ワイン 140年史 ～国産ブドウで醸造する和文化的結晶～》

国産ブドウを原料とし、日本国内で醸造される「日本ワイン」。その140年にわたる歴史において重要な地位を占めるのが山梨県甲州市と茨城県牛久市である。甲州市は地元のブドウ農家との共存繁栄をはかり、広大なブドウ畑と新旧30ものワイナリーを誕生させるに至った。牛久市の「牛久シャトー」は、ブドウ栽培から醸造までの一貫した工程を構築し、大規模な醸造体制を確立した。明治の文明開化期、国営では果たせなかったワイン醸造を、それぞれの地域の特性を生かして民間の力で成し遂げたのである。切磋琢磨して日本のワイン文化の広まりに貢献した二つのまちに息づく歴史を知れば、ワインの味わいもより深くなる。



【シャトーカミヤ旧醸造場施設事務室(牛久市)】



【宮光園(甲州市)】

④ 栃木県（◎益子町）、茨城県（笠間市）

《かさましこ ～兄弟産地が紡ぐ“焼き物語”～》

日本屈指の窯業地「かさましこ」（茨城県笠間市と栃木県益子町）は、窯業や統治者によって古代から同じ文化圏でした。江戸時代に入り別々の道を歩みますが、18世紀後半から再び、製陶を通じてつながり合った地域です。使い勝手のいい日用品を作り続けていたこの地は、存続の危機に陥ると時代に合わせた革新に挑み、多様な作風を許容する産地へと変化しました。自由でおおらかな環境が創造する者を惹きつけ、今では600名を超える陶芸家が活躍しています。美意識を追求し美しい生活造形を生み出す「かさましこ」は、訪れる人の五感をも刺激し、暮らしに寄り添う独自の陶文化を醸成しているのです。



【窯焚き】



【益子陶器市】

⑤ 東京都（八王子市）

《^{れいきまんざん}霊気満山 ^{たかおさん}高尾山 ^{ひとびと}～人々の祈りが紡ぐ^{いの}桑都^{つむ}物語^{そうとものがたり}～》

八王子は、養蚕や織物が盛んだったことから「^{そうと}桑都」と称されました。甲州道中最大の宿場町となり、さまざまな文化を育みながら発展してきたまちの礎は、戦国時代末期に関東の覇権を握った北条氏の名将・北^{ほうじょうじてら}条氏照が、城下町を築いたことに遡ります。

桑都の発展を支えた養蚕農家や絹商人は、氏照が武運を祈願し、いにしえより人々が霊山として崇めてきた高尾山を信仰し、大切に護ってきました。

高尾山では、今も人々の祈りとともに、江戸時代に花開いた桑都の伝統文化が連綿と受け継がれています。



【八王子城跡】



【火渡り祭】

⑥ 新潟県（十日町市）

《^{きゅうきよく}究^{ゆきぐに}極の雪国とおかまち ^{しんせつ}—真説！豪雪地^{ごうせつち}ものがたり—》

世界有数の豪雪地として知られる十日町市。ここには豪雪に育まれた「着もの・食べもの・建もの・まつり・美」のものがたりが揃っている。人々は雪と闘いながらもその恵みを活かして暮らし、雪の中に楽しみさえも見出してこの地に住み継いできた。ここは真の豪雪地ものがたりを体感できる究極の雪国である。



【神宮寺観音堂・山門】

(写真提供：山田つとむ氏)



【婿投げ】

(写真提供：十日町市提供)

⑦ 福井県（◎南越前町，敦賀市），滋賀県（長浜市）

《^{うみ}海を越えた^こ鉄道^{てつどう} ～^{せかい}世界へつながる^{てつる} 鉄路のキセキ～》

ここに1枚の切符がある。今から約100年前に運行されていた欧亜国際連絡列車は、この切符で東京からベルリンまでの渡航が可能であった。シベリア鉄道の発着地であるウラジオストクと敦賀を結ぶ鉄道連絡船の就航により、鉄道は海を超え欧州へとつながった。

なぜ敦賀駅に国際列車が発着していたのか？それは、長浜市・敦賀市・南越前町の明治時代の鉄道の歴史と密接な関係がある。物語は、トンネルで日本海と琵琶湖を繋いだことから始まる。



【旧長浜駅舎】



【山中トンネル】

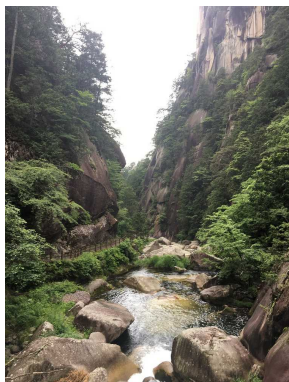


【敦賀港の景観】

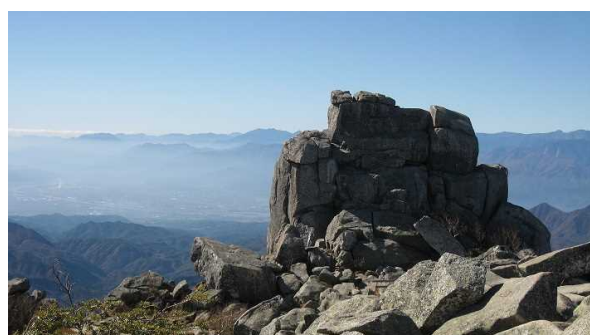
⑧ 山梨県（◎甲府市，甲斐市）

《^{こうしゅう}甲州の^{たくみ}匠の^{げんりゅう}源流・^{みたけしょうせんきょう}御嶽昇仙峡 ～^{すいしょう}水晶の^{こどう}鼓動が^{みちび}導いた^{しんこう}信仰と^{わざ}技、そして^{せんしんぎじゅつ}先進技術へ～》

昇仙峡一帯の山地は、水の塊と信じられていた水晶を産出する水源信仰の地であり、地域を流れる荒川上流を訪ねると、悠久の時をかけた浸食により形成された大小の滝や巨石、奇岩に驚かされます。水が作った芸術品ともいえるこの溪谷美は、江戸時代末期に行われた新道開削により奇跡的に出現したものですが、地域の人々の熱意により日本有数の景勝地として磨きあげられてきました。そして、昇仙峡一帯で産出された豊富な水晶とその加工技術は、匠の技として日本一のジュエリー産業の基盤となり、更には人工水晶製造技術へと繋がってスマートフォンなどの電子機器に使用されるなど、過去から現代に至る私たちの生活を支えているのです。



【昇仙峡】



【金峰山】

⑨ 長野県（千曲市）

《月の都 千曲 ―姨捨の棚田がつくる摩訶不思議な月景色「田毎の月」―》

日本人の美意識を表す「月見」。中でも、歴史的に文学や絵画の題材となってきた「おぼすてやま 姨捨山に照る月」、「たごと 田毎の月」は、日本を代表する月見の名所である。

姨捨は、地名の響きから、棄老物語を語り伝えてきた。それは、月見にちなむ文芸への遊び心を鼓舞する一方、棚田での耕作や伝統行事を通じて古老の知恵と地域の絆を大切にする教えを育んできた。

すべての棚田に映る月影を1枚の浮世絵に表したうたがわひろしげ 歌川広重の摩訶不思議な「田毎の月」。そんな「古来の月見」や、「月の都 千曲」が奏でる「新しい月見」に出かけよう。



【歌川広重作
摩訶不思議な田毎の月】



【鏡台山から昇る満月】

⑩ 長野県（上田市）

《レイラインがつなぐ「太陽と大地の聖地」 ～ 龍と生きるまち 信州上田・塩田平～》

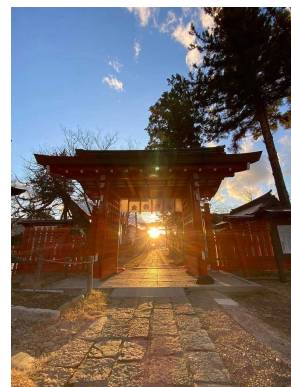
独鈷山と夫神岳から扇状に開ける地・塩田平は、古来「聖地」として、多くの神社仏閣が建てられている。

山のふもとにある信州最古の温泉といわれる別所温泉、「国土・大地」を御神体とする「生島足島神社」、「大日如来・太陽」を安置する「信濃国分寺」は、1本の直線状に配置され、レイラインをつないでいる。

夏至と冬至に、鳥居の中を太陽の光が通り抜け、神々しくぬくもりのある輝きを享受できるのだ。先人たちが、この地が特別であると後世に伝えようと遺した様々な仕掛けは、今も、訪れる人びとにパワーをチャージさせる



【安楽寺木造三重塔（岡田光司）】



【生島足島神社（冬至の落陽）
（上田市）】

⑪ 静岡県（◎藤枝市，静岡市）

《日本初「旅ブーム」を起こした弥次さん喜多さん、駿州の旅 ～滑稽本と浮世絵が描く
東海道旅のガイドブック（道中記）～》

日本初の「旅の大ブーム」の火付け役は、十返舎一九の滑稽本「東海道 中膝栗毛」であり、歌川広重の描いた「東海道五十三次」の浮世絵であった。「滑稽さ」「怖いもの見たさ」そして美味しい「名物」に引き寄せられるのは人の世の常。日本の「ガイドブックの原典」とも言われる「浮世絵」「滑稽本」に惹かれ、自由な移動が制限される江戸時代でも人々は物見遊山の旅へいそいそと出かけて行った。弥次さん喜多さんの「旅の楽しさ」は今も駿州で体感できる。富士山を仰ぎ見ながら江戸時代の「ガイドブック（道中記）」を片手に「東海道五十三次」の「真ん中」、駿州を巡る旅に出よう。



【丸子宿・丁子屋】



【岡部宿大旅籠柏屋（弥次喜多）】

⑫ 京都府（◎京都市），滋賀県（大津市）

《京都と大津を繋ぐ希望の水路 琵琶湖疏水 ～舟に乗り、歩いて触れる明治のひととき》

今も京都に「命の水」を運び続ける琵琶湖疏水。遊覧船に乗り、疏水沿いを歩いて触れられるのは、明治の偉業から生まれた、京都と大津の知られざる魅力です。

明治維新の東京奠都によって、人口が大きく減少した京都の人々は、琵琶湖疏水の建設に、まちの再生の望みを託し、多くの困難を乗り越え、日本で初めて、日本人のみの手によって、この大土木事業を成し遂げました。豊富な水は水力発電、舟運、防火用水、庭園群、水道などに利用され、経済や産業、文化を発展させました。

京都を再生と飛躍に導き、現在のまちの姿を形づくった琵琶湖疏水は、今も京都と大津を繋ぎ、まちとくらしを潤し続けています。琵琶湖疏水を舟で遊覧し、沿線や施設を歩くことで、明治の時代のこの壮大な事業が、時を超えて今に息づいていることを、感じる事ができるでしょう。



【第一トンネル東口】



【旧御所水道ポンプ室とれいわ号】

⑬ 大阪府（◎河内長野市），奈良県（宇陀市），和歌山県（九度山町，高野町）

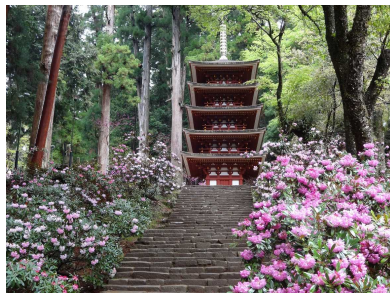
《女性とともに今に息づく女人高野 ～時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地～》

高野山は、近代まで「女人結界」が定められ、境内での女性たちの参拝は叶わなかった。そんな時代にあっても女性たちの、身内の冥福を祈る声、明日の安らぎを願う声を聴いていた、「女人高野」と呼ばれるお寺があった。

優美な曲線を描くお堂の屋根、静かに願いを聞いて柔和な顔の仏像、四季の移ろいを映す周囲の樹々、これらが調和した空間を『名所図会』は見事に実写し、表現した。そこに描かれた「女人高野」は時を超え、時に合わせて女性とともに今に息づき、訪れる女性たちを癒し続けている。



【金剛寺のピンクリボン
ライトアップ】



【室生寺の五重塔】



【慈尊院の乳型絵馬】



【女人結界と女人堂】

⑭ 兵庫県（◎伊丹市，尼崎市，西宮市，芦屋市，神戸市）

《「伊丹諸白」と「灘の生一本」 下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷》

江戸時代、伊丹、西宮・灘の酒造家たちは、優れた技術、良質な米と水、酒輸送専用の樽廻船によって、「下り酒」と称賛された上質の酒を江戸へ届け、清酒のスタンダードを築きました。酒造家たちの技術革新への情熱は、伝統ある酒蔵としての矜持と進取の気風を生み、「阪神間」の文化を育みました。

六甲山の風土と人に恵まれたこの地では、水を守り米を育てる人々、祭りに集う人々、酒の香漂う酒造地帯を訪れ、蔵開きを楽しむ人々が共にあり、400年の伝統と革新の清酒が造られています。



【現存する日本最古の酒蔵
「旧岡田家住宅・酒蔵」】



【酒造りの天与の霊水
湧き出る「宮水」】

⑮ 奈良県（◎三郷町）、大阪府（柏原市）

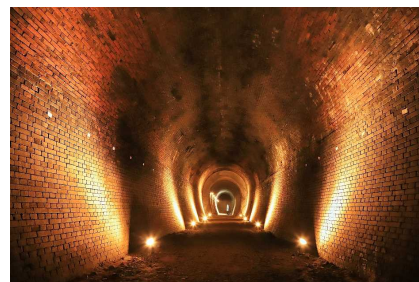
《もう、すべらせない！！ ～龍田古道の心臓部「^{たつたこどう}亀の瀬^{しんぞうぶ}」を越えてゆけ～》

「亀の瀬」、それは奈良と大阪の国境に位置し、奈良盆地の水を一手に集める溪谷地帯。ここは、4 万年前から地すべりが繰り返されてきた難所でありながら、古代より都の西の玄関口として交通・経済・治水を支えてきた心臓部だ。万葉びとが歌に詠み、文物の往来によって発展を遂げた「龍田古道」は、地すべりの恐怖と隣り合わせにある。古代からこれまで、人々は都度の最新技術を結集させてこの要衝地を守り、龍田の風の神がその歴史と常とともにあった。

龍田の風を肌を感じながら古道を歩いてみよう。土砂に埋もれた鉄道トンネルを覗き、未来の暮らしを支える土木技術に触れ、いざ亀の瀬を越えたとき、自然の驚異と寄り添い暮らす日本人ならではの心のありようが見えてくる



【龍田大社拝殿】



【地すべりに埋もれた亀の瀬トンネル】

⑯ ◎和歌山県（和歌山市、橋本市、紀の川市、岩出市、かつらぎ町）、大阪府（岸和田市、泉佐野市、河内長野市、和泉市、柏原市、阪南市、岬町、河南町、千早赤阪村）、奈良県（五條市、御所市、香芝市、葛城市、王寺町）

《「^{かつらぎしゅげん}葛城修験^{さとびと}一里人とともに^{まも}守り^{つた}伝える^{しゅげんどう}修験道^ちはじまりの地》

和歌山～大阪～奈良の境に聳える葛城の峰々。修験道の開祖と言われる^{えんのぎょうじ}役行者がはじめて修行を積んだこの地は、世界遺産の吉野・大峯と並ぶ「修験の二大聖地」と称されています。この地には、役行者が法華経を1品ずつ埋納したという28の経塚があり、今も修験者たちは、その経塚や縁の寺社、滝や巨石を巡ります。そしてその修行にはいつの時代も、この地に暮らす人々との深いつながりがありました。

修験者や地域の人々が大切にしてきた聖地「葛城修験」― 修験道の歴史は、ここから始まりました。



【紀州加太浦「採燈大護摩供」】



【中津川行者堂】

⑪ 島根県（益田市）

《中世日本の傑作 益田を味わう 一地方の時代に輝き再び》

海に国境のない時代—中世。山陰地方の西端のまち益田は、その地理と地域資源を活かして、大きな輝きを放っていました。

人々は、中国や朝鮮半島に近い地理と、中国山地がもたらす材木や鉱物などの地域資源を活かして、日本海交易を進めました。領主益田氏は、自らも交易に積極的に関与し、優れた政治手腕を発揮して平和を実現しました。経済的繁栄と政治的安定のもと、東アジアの影響も受け、どこにもない文化が花開きました。

現在の益田にはその歴史を物語る、港、城、館の遺跡と景観、寺院や神社、町並み、庭園、絵画、仏像などの一級品がまとまって残っています。

このように、時代と地域の特性を活かして輝いた益田は、中世日本の傑作と言え、全国でも希少な中世日本を味わうことのできるまちです。



【萬福寺本堂】



【高津川】

⑫ 島根県（大田市）

《石見の火山が伝える悠久の歴史 ～”縄文の森” ”銀の山”と出逢える旅へ～》

地下へ続く階段を下りていくと、目の前にそびえ立つ幾本もの巨大な木—。三瓶山の噴火で地中深くに埋まった縄文時代の木々が、悠久の時を超え、当時のままの姿を現しているのです。

火山大国である日本。

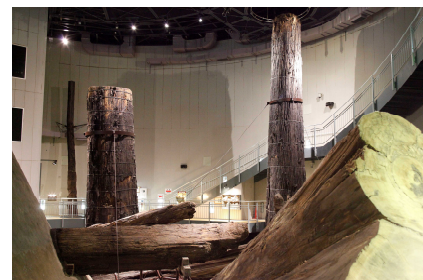
人々を脅かす噴火ですが、石見の国おおだには様々な恩恵をもたらしてくれました。かつて世界に「ジパング（日本）」の名をとどろかせた石見銀山の鉱床もマグマから生まれたのです。

そして火山が育んだ豊かな大地は生活を潤してくれました。

暮らしの根っこに火山の歴史が息づくまち、石見の国おおだ。ここには火の国のめぐみと出逢える旅が待っています。



【三瓶山の牧野景観】



【埋没林全体】

①9 岡山県（◎高梁市）

《「^{はっしょう}ジャパンレッド」^ち発祥の地 ^{べんがら}一弁柄と ^{あかがね}銅の町・^{まち}備中吹屋^{びっちゅうふきや}》

標高約 500m の高原上に忽然と出現する「赤い町並み」。かつて国内屈指の^{べんがら}弁柄と^{あかがね}銅生産で繁栄した^{くたにやき}鉦山町・吹屋である。吹屋で生産された赤色顔料の弁柄は全国に流通し、社寺などの建築や^{いまりやき}丸谷焼・^{わじまぬり}伊万里焼や輪島塗等、日本を代表する工芸品を鮮やかに彩り、日本のイメージカラーである「ジャパンレッド」を創出した。富を得た商人たちは赤い瓦と弁柄で彩色された^{こうし}格子で家々を飾り、今も残る町並みは、独特の景観を醸し出し、訪れる多くの人々を魅了している。また、周辺には、弁柄工場跡や銅山跡等も残り、「ジャパンレッド」を創出した往時の繁栄を偲ばせている。



【ボンネットバスの走る
吹屋の町並み】



【整備された旧弁柄工場
(ベンガラ館)】

②0 長崎県（◎長崎市，諫早市，大村市），福岡県（飯塚市，北九州市），佐賀県（嬉野市，小城市，佐賀市）

《^{さとうぶんか}砂糖文化を^{ひろ}広めた^{ながさきかいどう}長崎街道 ～シュガーロード～》

室町時代末頃から江戸時代、西洋や中国との貿易で日本に流入した砂糖は、日本人の食生活に大きな影響を与えた。なかでも、海外貿易の窓口であった長崎と小倉を繋ぐ長崎街道沿いの地域には、砂糖や外国由来の菓子が多く流入し、独特の食文化が花開いた。現在でも、宿場町をはじめ、当時の長崎街道を偲ばせる景観とともに、個性豊かな菓子が残されている。

輸入砂糖や菓子と関わりの深い長崎街道「シュガーロード」を辿ると、長崎街道の歴史だけでなく、400 年以上もの時をかけて発展し続ける砂糖や菓子の文化に触れることができる。



【出島和蘭商館跡】



【塩田津街並み】

② 熊本県（八代市）

《八代を創造した石工たちの軌跡 ～石工の郷に息づく石造りのレガシー～》

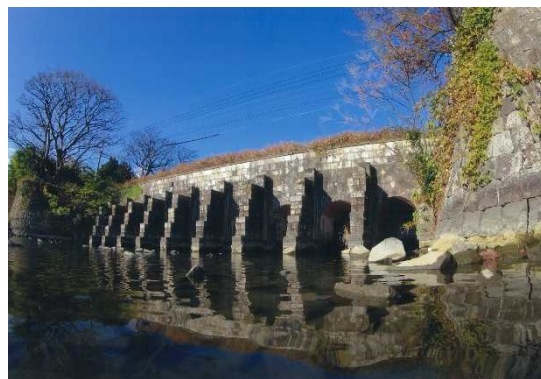
かつて全国で築かれた「めがね橋」の4分の1が分布する熊本。その殆どは八代で生まれ育った石工たちによって手掛けられました。彼らの卓越した手腕は日本各地で必要とされ、「神田万世橋」や「通潤橋」などの架設を成功に導き、全国に名声を轟かせるまでに至りました。それ故に、八代は多くの「名石工」を輩出した「石工の郷」と呼ばれています。

石工たちは、八代に広大な平野と豊かな実りをもたらした「干拓事業」や、地域の交通を支えた「めがね橋」の架設などに携わり、八代の発展と人々の生活基盤づくりに長きにわたって貢献する中で、己の技を磨き上げ、名もなき石工から名石工へと成長していったのです。

彼らが築いた堅牢な干拓樋門、川面に美しいアーチを描くめがね橋、見事な棚田の石垣などの石造りのレガシーは百余年たった今も、まちの景観や人々の暮らしの中に生き続けており、訪れる人々を「石工の郷」へと誘ってくれます。



【笠松橋】



【旧郡築新地甲号樋門】

令和2年度「日本遺産(Japan Heritage)」申請一覧

別紙3

番号	都道府県名	申請者 (◎印は代表自治体)	ストーリーのタイトル
1	北海道	◎札幌市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市、網走市、留萌市、稚内市、千歳市、石狩市、倶知安町、余市町、新十津川町、上川町、増毛町、羽幌町、天塩町、中頓別町、枝幸町、幌延町、佐呂間町、遠軽町、湧別町、白老町、安平町、日高町、様似町、えりも町、広尾町、池田町	食の軌跡が輝く北の大地 ～北海道ダイヤモンドロマン～
2	北海道	小樽市	北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽 ～「民の力」で創られ蘇った北の商都～
3	北海道	◎標津町、根室市、別海町、羅臼町	「鮭の聖地」の物語 ～根室海峡一万年の道程～
4	岩手県	◎二戸市、八幡平市	”奥南部”漆物語 ～安比川流域に受け継がれる伝統技術～
5	宮城県	石巻市、◎登米市	大河に挑む 北上川KOMEものがたり
6	宮城県	名取市	名取で叶える三社巡りの「熊野詣」
7	秋田県	北秋田市	阿仁マタギ ー山の恵みは山ノ神からの授かりものー
8	茨城県、山梨県	茨城県(◎牛久市)、山梨県(甲州市)	日本ワイン140年史 ～国産ブドウで醸造する和文化の結晶～
9	茨城県、栃木県	茨城県(◎結城市)、栃木県(小山市)	時を越え、昔と今につむぐまち ～絹の内に秘めた輝き ー結城紬ー
10	栃木県	◎那須町、宇都宮市、栃木市、佐野市、大田原市	伝えられた物語が織りなすミステリーワールド ～妖怪？幽霊？とちぎは不思議であふれてる～
11	栃木県、茨城県	栃木県(◎益子町)、茨城県(笠間市)	かさましこ ～兄弟産地が紡ぐ“焼き物語”～
12	群馬県	嬬恋村	浅間山大噴火からの復興にみる火山国日本の礎
13	千葉県	◎酒々井町、八街市、柏市、成田市、鴨川市、鎌ヶ谷市	房総の牧 徳川將軍の牧と近代農業発祥の大地
14	千葉県、岩手県、東京都、高知県	千葉県(◎富里市)、岩手県(雫石町)、東京都(台東区)、高知県(安芸市)	百年続く牧の詩 ～想いを紡ぐ農場～
15	千葉県	◎富津市、鋸南町	物見遊山の聖地は天空の岩山 ～安房と上総を結ぶ山・鋸山は自然と歴史のテーマパーク～
16	東京都	八王子市	靈氣満山 高尾山 ～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～
17	東京都	◎練馬区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、足立区、江戸川区	江戸東京を支えた近郊農村 ー来て見て発見！江戸東京野菜ー
18	新潟県	十日町市	究極の雪国とおかまち ー真説！豪雪地ものがたりー

番号	都道府県名	申請者 (◎印は代表自治体)	ストーリーのタイトル
19	福井県、滋賀県	福井県(◎南越前町、敦賀市)、滋賀県(長浜市)	海を越えた鉄道 ～世界へつながる 鉄路のキセキ～
20	福井県	小浜市	小浜に息づく物語「八百比丘尼」 ～美と不老長寿のまち～
21	福井県	◎越前市、鯖江市、越前町	縁結び 一人と人と伝統工芸 丹南で会おうー
22	福井県、京都府	福井県(◎高浜町、おおい町)、京都府(南丹市、京都市)	陰陽道の世界 ～陰陽宗家と若丹街道「食・いのり・自然」を訪ねる～
23	山梨県	◎甲府市、甲斐市	甲州の匠の源流・御嶽昇仙峡 ～水晶の鼓動が導いた信仰と技、そして先進技術へ～
24	山梨県	◎大月市、上野原市	鬼の棲む山と、英雄が歩んだ軌跡 ー鬼伝説と地名から生まれた桃太郎ー
25	長野県	千曲市	月の都 千曲 ー続捨の棚田がつくる摩訶不思議な月景色「田毎の月」ー
26	長野県	上田市	レイラインがつなぐ「太陽と大地の聖地」 ～龍と生きるまち 信州上田・塩田平～
27	長野県	伊那市	山里に花開いた石工文化と野に咲く芸術 ～高遠石工のふるさと信州伊那・高遠～
28	岐阜県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、栃木県、埼玉県、東京都、新潟県、富山県、石川県、福井県、三重県	岐阜県(垂井町、◎大垣市)、岩手県(一関市、平泉町)、宮城県(岩沼市、多賀城市、塩竈市、松島町、栗原市、大崎市)、秋田県(にかほ市)、山形県(最上町、尾花沢市、天童市、大石田町、新庄市、鶴岡市、遊佐町)、福島県(白河市、二本松市)、栃木県(鹿沼市、日光市、大田原市、那須町)、埼玉県(草加市)、東京都(江東区、荒川区、足立区)、新潟県(出雲崎町、糸魚川市)、富山県(滑川市、高岡市)、石川県(金沢市、小松市、加賀市)、福井県(南越前町、敦賀市)、三重県(伊賀市)	時間と空間を超えた『おくのほそ道』の旅 ～不易流行の世界へ～
29	岐阜県	郡上市	袖振り合うも他生の縁 ー踊りのまち 郡上ー
30	静岡県	◎藤枝市、静岡市	日本初「旅ブーム」を起こした弥次さん喜多さん、駿州の旅 ～滑稽本と浮世絵が描く東海道旅のガイドブック(道中記)～
31	静岡県	静岡市	漆=japan 駿河ものづくりの系譜 木工職人の巧みな技が生み出した「模型の世界首都・静岡」
32	静岡県	掛川市	100年の大講堂 ～今なお講義が聞こえる立体回廊～
33	愛知県	岡崎市	天下泰平への軌跡 ー家康と三河武士が築いたまち 岡崎ー
34	愛知県	豊田市	過去とミライが体験できる道「中馬街道」 ～中馬ビリティーと豊田モビリティー～
35	三重県	亀山市	もてなしの心を継ぐ東海道・関宿 ～伊勢国の玄関口「一の鳥居」の物語～
36	滋賀県	長浜市	秀吉さんが生んだ匠の技 仏壇と縮緬から曳山を創ったまち・長浜

番号	都道府県名	申請者 (◎印は代表自治体)	ストーリーのタイトル
37	滋賀県	東近江市	日本の森林を適正に管理した木地師文化と禅の教えが伝えた幻の銘茶「政所茶」
38	京都府	◎京都府(京都市、亀岡市、南丹市)	悠久の都に森の恵みを運んだ水のみち ～杣人と川人が築いた丹波・北山と保津川文化～
39	京都府、滋賀県	京都府(◎京都市)、滋賀県(大津市)	京都と大津を繋ぐ希望の水路 琵琶湖疏水 ～舟に乗り、歩いて触れる明治のひとつとき
40	京都府	京都市	京都の町衆が紡いだ文化芸術 ―躍動する天才たち―
41	京都府	◎南丹市、亀岡市、京丹波町	瑞々しい稲穂の里 ～京都丹波の千年村～
42	大阪府	◎大阪市、堺市	町人の自治精神が育んだ歴史・文化の香るまち・大阪 ～近代建築群がいざなうタイムトラベル～
43	大阪府、奈良県 和歌山県	大阪府(◎河内長野市)、奈良県(宇陀市)、和歌山県(九度山町、高野町)	女性とともに今に息づく女人高野 ～時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地～
44	大阪府	大阪狭山市	池を守る ―万民豊穡を支えた池の記録―
45	兵庫県	◎伊丹市、尼崎市、西宮市、芦屋市、神戸市	「伊丹諸白」と「灘の生一本」 下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷
46	奈良県	◎桜井市、天理市	日本最古のトレッキング道 ～ふるさとへの憧れを旅する「山の辺の道」～
47	奈良県	奈良市	日本の紅を支える月ヶ瀬の烏梅づくり ―時代で形を変え人々の心を染める名勝月ヶ瀬梅林―
48	奈良県、大阪府	奈良県(◎三郷町)、大阪府(柏原市)	もう、すべらせない！！ ～龍田古道の心臓部「亀の瀬」を越えてゆけ～
49	奈良県、大阪府 兵庫県	奈良県(奈良市、大和郡山市、桜井市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、曽爾村、明日香村、◎王寺町、広陵町、河合町、大淀町)、大阪府(大阪市、太子町)、兵庫県(太子町)	ここに聖徳太子が「実在」する ―奈良を中心に受け継がれる1400年の太子信仰―
50	和歌山県、大阪府 奈良県	◎和歌山県(和歌山市、橋本市、紀の川市、岩出市、かつらぎ町)、大阪府(岸和田市、泉佐野市、河内長野市、和泉市、柏原市、阪南市、岬町、河南町、千早赤阪村)、奈良県(五條市、御所市、香芝市、葛城市、王寺町)	「葛城修験」 ―里人とともに守り伝える修験道はじまりの地
51	和歌山県	◎和歌山県(橋本市、御坊市、田辺市、新宮市、高野町、印南町、みなべ町、日高川町、那智勝浦町)	きのくに 絵解きの聖地 ―旅人をもてなす絵解き文化が息づく地―
52	島根県	益田市	中世日本の傑作 益田を味わう ―地方の時代に輝き再び―
53	島根県	大田市	石見の火山が伝える悠久の歴史 ～”縄文の森” ”銀の山”と出逢える旅へ～
54	岡山県、長崎県 鹿児島県	岡山県(◎総社市)、長崎県(対馬市)、鹿児島県(南種子町)	赤いヒカリノミに出逢う里 ～受け継がれた赤米の記憶～
55	岡山県	高梁市	「ジャパンレッド」発祥の地 ―弁柄と銅の町・備中吹屋―
56	岡山県、兵庫県	岡山県(◎美作市、西粟倉村)、兵庫県(宍粟市)	古くて新しい「里地里山」 ―後山の麓で息づく人と自然の物語―

番号	都道府県名	申請者 (◎印は代表自治体)	ストーリーのタイトル
57	広島県、島根県	広島県(◎三次市、世羅町、府中市、尾道市)、島根県(大田市、飯南町、美郷町)	天下泰平、江戸の世を支えた石見銀山街道 ～石見から備後へつなげ！銀のバトン～
58	山口県、北海道 宮城県、千葉県 石川県、和歌山県 佐賀県、長崎県	山口県(◎下関市、長門市)、北海道(網走市、釧路市)、宮城県(石巻市)、千葉県(南房総市)、石川県(能登町)、和歌山県(太地町)、佐賀県(唐津市)、長崎県(新上五島町、東彼杵町、長崎市、壱岐市)	南氷洋に進路をとれ ～近代捕鯨と鯨捕りの物語～
59	徳島県、兵庫県	◎徳島県(鳴門市)、兵庫県(南あわじ市)	渦巻く「鳴門」～潮流がいざなう絶景・絶品～
60	愛媛県	宇和島市	四国に開かれた近代の扉 ―城下町宇和島の文明開化―
61	福岡県、大分県	福岡県(◎添田町、豊前市、東峰村、福智町、苅田町、みやこ町、上毛町、築上町)、大分県(中津市)	山神の聖地「英彦山」～豊前英彦山六峰の山里に息づく山神への祈り～
62	福岡県	◎田川市、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町	ヤマのマチ「豊前田川」～今も続くヤマとの語らい～
63	佐賀県	多久市	学びの里 論語と生きるまち ～多久の雀は論語をさえずる～
64	長崎県、福岡県 佐賀県	長崎県(◎長崎市、諫早市、大村市)、福岡県(飯塚市、北九州市)、佐賀県(嬉野市、小城市、佐賀市)	砂糖文化を広めた長崎街道 ～シュガーロード～
65	長崎県、宮崎県	長崎県(◎南島原市、大村市、西海市、雲仙市、波佐見町)、宮崎県(西都市)	日本を世界地図に描かせた少年たち ～天正遣欧少年使節～
66	熊本県	八代市	八代を創造した石工たちの軌跡 ～石工の郷に息づく石造りのレガシー～
67	宮崎県、三重県 大阪府、奈良県 和歌山県、岡山県 広島県、福岡県 大分県	宮崎県(◎宮崎市、日向市、高原町、都農町)、三重県(大紀町、熊野市)、大阪府(東大阪市、泉南市)、奈良県(橿原市、桜井市、宇陀市、東吉野村)、和歌山県(和歌山市、新宮市、那智勝浦町)、岡山県(岡山市、笠岡市)、広島県(府中町、呉市)、福岡県(芦屋町、北九州市)、大分県(大分市、佐伯市、宇佐市)	日本最古の冒険物語『神武東遷』～ The first emperor JINMU: Journey to the east ～
68	鹿児島県	◎薩摩川内市、鹿屋市、霧島市、南さつま市	カゴシマ神景[KOUKEI] ～神代三山陵と笠狭宮から紡がれる風土[FOOD]～
69	沖縄県	うるま市	心おどる三線、島唄のまち・うるま市 ～祈りの舞から歌、三線発祥の地を旅する～

※ 太字・色付きは令和2年度の「日本遺産(Japan Heritage)」に認定されたもの

「日本遺産 (Japan Heritage)」について

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」に認定するとともに、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することにより、地域の活性化を図る。

1. 認定対象

- 日本遺産は、以下の点を踏まえたストーリーを認定する（文化財そのものが認定の対象となるわけではない）。
 - ・ 歴史的経緯や、地域の風土に根ざし世代を超えて受け継がれている伝承、風習等を踏まえたストーリーであること。
 - ・ ストーリーの中核には、地域の魅力として発信する明確なテーマを設定の上、建造物や遺跡・名勝地、祭りなど、地域に根ざして継承・保存がなされている文化財にまつわるものが据えられていること。
 - ・ 単に地域の歴史や文化財の価値を解説するだけのものになっていないこと。
- ストーリーのタイプとしては2種類
 - ・ 「地域型」…単一の市町村内でストーリーが完結。
 - ・ 「シリアル型（ネットワーク型）」…複数の市町村にまたがってストーリーが展開（複数の市町村に下記「ストーリーの構成文化財」が所在）。

2. ストーリーを語る上で不可欠な文化財群（ストーリーの構成文化財）

- 地域の魅力ある有形・無形の文化財群の一覧を作成するものとする。
- 構成文化財は、地域に受け継がれている有形・無形のあらゆる文化財を対象とし、地方指定や未指定の文化財も可能とする。
- 日本遺産のストーリーが我が国の文化・伝統を語るものであることから、文化財群の中に国指定・選定のものを必ず一つは含めることとする。

3. 認定申請の手続き

(1) 申請者

- 日本遺産の申請者は市町村とし、文化庁への申請は都道府県教育委員会を経由して行う。
- シリアル型の場合、原則として市町村の連名とするが、当該市町村が同一都道府県内に所在する場合は当該都道府県が申請者となることも可能。

(2) 認定申請を行うに当たっての条件

- 認定申請を行うことができるのは、歴史文化基本構想又は歴史的風致維持向上計画を策定済みの市町村、若しくは世界文化遺産一覧表記載案件又は世界文化遺産暫定一覧表記載・候補案件を有する市町村とする。
- 地域型の申請の場合は上記の条件が必須であるが、シリアル型の申請の場合は満たすことが望ましい。

(3) 認定の可否

- 認定可否は、文化庁に設置する外部有識者で構成される「日本遺産審査委員会」の審査結果を踏まえて、文化庁が決定する。

(4) 認定基準

- ストーリーの内容が、当該地域の際立った歴史的特徴・特色を示すものであるとともに我が国の魅力を十分に伝えるものとなっていること。
※ストーリーについては、以下の観点から総合的に判断する。
 - ・興味深さ（人々が関心を持ったり惹きつけられたりする内容となっているか。）
 - ・斬新さ（あまり知られていなかった点や隠れた魅力を打ち出しているか。）
 - ・訴求力（専門的な知識がなくても理解しやすい内容となっているか。）
 - ・希少性（他の地域ではあまり見られない稀有な点があるか。）
 - ・地域性（地域特有の文化が現れているか。）
- 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、実現に向けた具体的な方策が適切に示されていること。
- ストーリーの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること。

日本遺産審査委員会委員名簿

デービッド・アトキンソン 小西美術工藝社代表取締役社長

稲葉 信子 放送大学客員教授・筑波大学名誉教授

小山 薫堂 放送作家・映画脚本家

里中 満智子 マンガ家

◎下村 彰男 國學院大學 研究開発推進機構 教授

田端 浩 観光庁長官

丁野 朗 東洋大学国際観光学部客員教授

広瀬 和雄 国立歴史民俗博物館名誉教授

山田 拓 株式会社美ら地球 代表取締役

マリサ・リンネ 京都国立博物館学芸部調査・国際連携室専門職

(敬称略)

(◎委員長)